

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読み下さい。また、必要なきに読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品 和漢生薬製剤

# うっち薬

## 【漢方薬の良さ】

漢方薬は古くから多くの人々に親しまれ、多くの研究と経験により理論づけ、体系づけられてきました。漢方では身体バランスがくずれ、病症に抵抗力を失った状態を病気と考えます。

- (1) 漢方薬は身体バランスを整え、自然治癒力を増し、体質の改善をおこない、全身の調和を回復し、病状を改善します。
- (2) 『うっち薬』は伝統ある処方に基づき配合したもので、血行不全による諸症状の改善に効果的に作用します。血液の血行不全は、体内の代謝異常により、血液代謝に障害を起こし、全身に違和感を与えます。

## ⚠ 使用上の注意

## ⊗ してはいけないこと

- ① 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと。  
他の瀉下薬
- ② 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること。
- ③ 大量に服用しないこと。

## 👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること。
  - (1) 医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - (3) 本人又は家族がアレルギー体質の人
  - (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (5) 次の症状のある人  
激しい腹痛、悪心、嘔吐
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
  - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤・かゆみ
消化器	はげしい腹痛・悪心・嘔吐

- (2) 1週間間服用しても症状がよくならない場合
3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること。  
下痢、湿疹

## 【効 能】

更年期障害、月経不順、便秘、便秘に伴うのぼせ、肩こり、動悸、腰痛、神経痛

## 【用法・用量】

成人（15才以上） 1回1包  
8才以上15才未満は 1回2分の1包  
5才以上8才未満は 1回4分の1包  
1日2回、朝夕、食前に水またはお湯にて服用する。

## 【用法・用量に関連するご注意】

- (1) 定められた用法・用量をお守り下さい。
- (2) 開封のしかた  
包みの上部をつまみよく振って中の薬を下方に落とし上部の切り口を開封して下さい。
- (3) 始めに水又はぬるま湯を適量口にふくみ服用すると飲み易い。

## 【成 分】

本品2包中（1日分）

川芎末 <sup>せんきゅうま</sup> ……1.0g	当帰末 <sup>とうき</sup> ……1.0g	甘草末 <sup>かんそうま</sup> ……0.3g
大黃末 <sup>だいおうま</sup> ……0.7g	紅花末 <sup>こうか</sup> ……0.7g	黄蓮末 <sup>おうれんま</sup> ……0.3g

## 【性 状】

本品は灰黄褐色の粉末で特異の芳香を有し、味は甘味をおび、やや残留性があります。

## 【保管及び取り扱い上の注意】

- (1) お子様の手のとどかない場所に保管して下さい。
- (2) 直射日光の当たらない、湿度の少ない涼しい場所に保管して下さい。
- (3) 品質を保持する為、ご使用開封後は必ず再び密封して、本製剤の入っていた容器に納めて下さい。（誤飲のもとになります。）

## 【うっち薬のすすめ】

『うっち薬』は6種類の生薬を自然のまま粉末加工し、製剤しています。それぞれの薬効が調和し、新しい作用を創り出し身体に働きかけ、病気の回復と共に体質改善を促進します。

- (1) 「当帰」は血行障害、血色不良に鎮痛、鎮静、補血強壯の作用をします。
- (2) 「川芎」は鎮痛、鎮静、補血薬として作用します。
- (3) 「大黃」は緩下、健胃として瀉下、解毒、駆瘀血の作用をします。
- (4) 「黄蓮」は上半身の炎症、充血、精神不安、心下部のつかえに作用します。
- (5) 「甘草」は矯味、緩和薬として配合薬間の調和をし、筋肉痛に作用します。
- (6) 「紅花」は血行障害の治療薬として作用します。

(日本薬局方より引用)

## 販売元 堀大師堂薬局

長崎県諫早市八坂町4-23  
TEL. 0957-23-2312(代表)  
FAX. 0957-23-4980

製造販売元 長崎県製薬協同組合  
長崎県長崎市本河内3-11-1  
TEL. 095-823-5314